

研究・調査報告書

報告書番号	担当
231	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Correlates of injury among ED visits: effects of alcohol, risk perception, impulsivity, and sensation seeking behaviors. 外傷と救急外来受診の関係：アルコール、危険性の予見、衝動、刺激志向的行動の効果	
執筆者	
Bazargan-Hejazi S, Gaines T, Duan N, Cherpitel CJ.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Am J Drug Alcohol Abuse. 2007;33(1):101-8.	
キーワード	
救急外来、外傷、飲酒	
要 旨	
<p>目的：</p> <p>救急外来受診者中の外傷とアルコールの役割を検討すること。</p> <p>1) 外傷は問題飲酒や直近の飲酒と正の関連があるか。2) 衝動や刺激志向的行動は外傷と正に関連し、これに対し危険予知は負に関連するか。</p>	
<p>方法：</p> <p>Los Angeles の都市部の救急外来受診者 412 人を対象とする断面研究で上記仮説について検討した。</p>	
<p>結果：</p> <p>直近の飲酒は外傷のオッズ比が 2 倍になるのに対して (オッズ比 2.34 : 95%信頼区間 1.07-5.10) 問題飲酒や個人的要素は外傷と関連しなかった。性と年齢も有意な予測因子だった。</p>	
<p>結論：</p> <p>外傷で救急外来を受診したものに対してスクリーニング検査として飲酒チェックをすることが有用である。</p>	